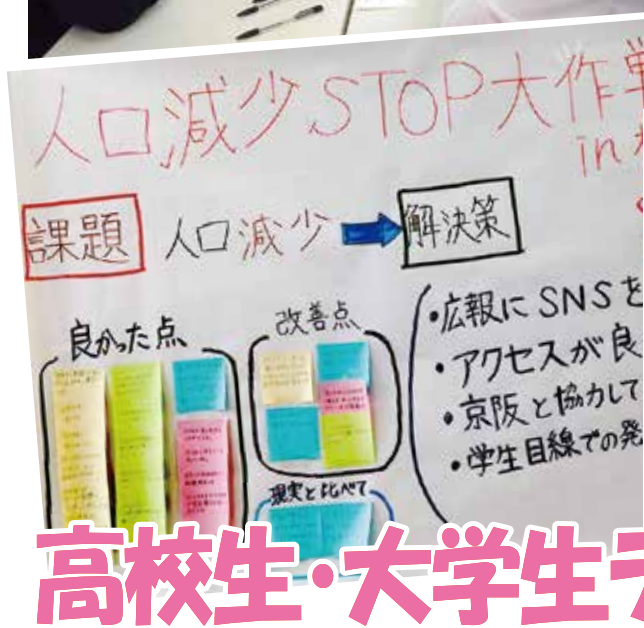
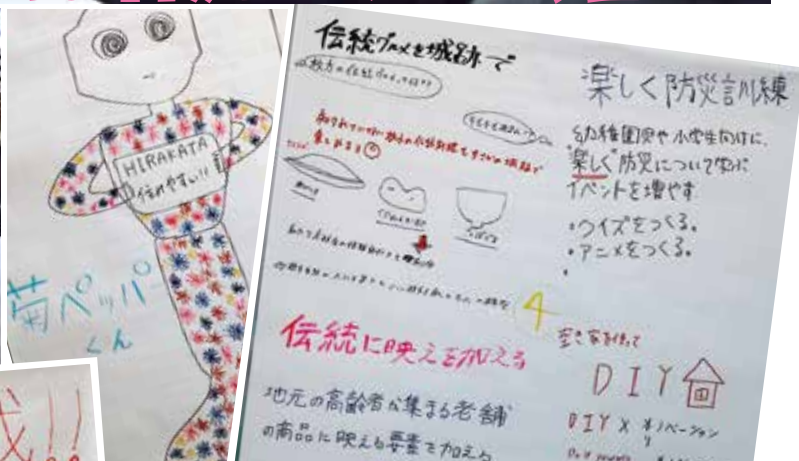


# ひらんぽ



## HIRAKATA Think&Action for 2030 ~「理想のまち」へ 枚方の10年後をつくるのは、君だ~



11/14  
(土)  
開催



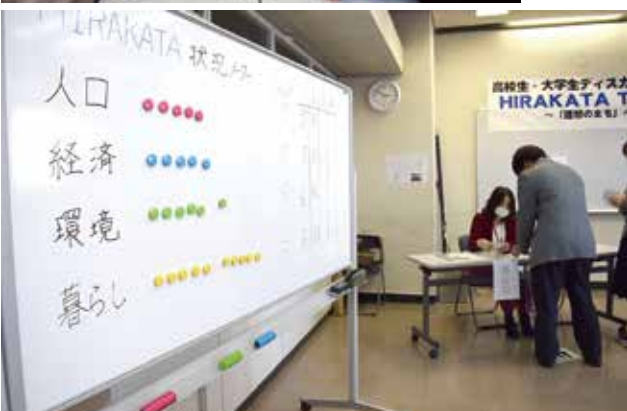
# ThinkからActionへ 高校生・大学生ディスカッション

学校を卒業して社会人になっても、枚方のこと、自分のま  
ちのことを考えてほしい。そんな思いで始まった「高校生・  
大学生ディスカッション」。タイトルの「HIRAKATA  
Think&Action for 2030」は、スタッフが、  
次世代の皆さんに想いをこめて考えたもの。

当日は、2019年度に行った中学生ディスカッションと  
同じく前半は、SDGs de 地方創生のカードゲームを行い、  
その後、班に分かれディスカッションという流れ。防災マッ  
プを持ち込んで、枚方のまちの課題について話し合っている  
班や、枚方の魅力を伝えるためのシンボルになるモニュメン  
ト制作、枚方の名産・おいしいものを集めたグ  
ルメ博の開催など、アイデアがどんどん出てき  
て頼もしい限り。さすが高校生、大学生とい  
うところが随所に見られた。

今回は、「Think」編ということで、い  
ろんな案が出てきたので、これから「Acti  
on実践編」へつながっていく予定だ。1月か  
ら「Action実践編」としてつなげるオン  
ライン会議を続け、3月に「Action準備  
編」としての発表会を実施。2030に向けて、  
住み続けたいまち「枚方」を目指し、若者は動  
き出しています。

(文・重村 雅世)



## 「SDGs de 地方創生」 カードゲームを体験しませんか？

中学生ディスカッションや、高校  
生・大学生ディスカッションでも行  
った「SDGs de 地方創生」カ  
ードゲームは、SDGsの考え方を  
身近な地域社会を題材に学びます。  
日本のどこかで「実際に」実践さ  
れた多様なプロジェクトの実行を通  
じて、よりよい地域づくりを目指し  
て参加者全員で対話し、考えていき  
ますが必ずしも「成功」しません。  
SDGsについて座学で学ぶだけ  
ではなく、うまくいっているケース  
とそうでないケースの間にある違い  
は何かを考え、アクションする上  
でのハードルや生じる課題は何かを理  
解し、参加者一人一人が行動変容を  
起こすきっかけを提供します。  
体験会には、ひらかた市民活動支  
援センターから「SDGs de 地  
方創生」ゲーム公認ファシリテータ  
ーを派遣いたしますので、お気軽に  
お問合せください。



講師派遣に  
ついての  
お問合せは  
コチラ



11/21  
(土)  
開催

# 人生が(たぶん、少し)豊かになる ボランティア基礎講座



参加者も多く、地域でできるボランティアの事例紹介もあり、これから社会で活動する若い人々には、大いに参考になったと思います。

また、コロナ禍だからこそできるボランティアの紹介もあり、地域社会のメンバーの一人としてできることを考える大切さを学びました。

参加者からは、「コロナ禍で閉じこもっていた心や体が少し前を向けた気がする。」「小さなことからでも、少しずつ社会参加していきたい。」「など、まさにボランティア(自発的)な感想もあり、自分から何か始めるきっかけができたのではないのでしょうか。」

終了後、早速、当センターのボランティア登録をしていたいただいた方もおり、最初の一步を継続的に応援していきたいと思っています。

(文・重村 雅世)



例年、4月頃に開催していたボランティア講座。コロナ禍でなかなか開催できなかったのですが、11月21日に、「人生が(たぶん、少し)豊かになるボランティア講座」を開催しました。

講師に如月オフィスの川畑恵子さんを迎え、ボランティアの基礎知識からタイトル通り、人生が少し豊かになるヒントをいただく講座となりました。

今回、高校生をはじめ10代・20代の活動できるボランティアの事例紹介もあり、これから社会で活動する若い人々には、大いに参考になったと思います。

また、コロナ禍だからこそできるボランティアの紹介もあり、地域社会のメンバーの一人としてできることを考える大切さを学びました。

参加者からは、「コロナ禍で閉じこもっていた心や体が少し前を向けた気がする。」「小さなことからでも、少しずつ社会参加していきたい。」「など、まさにボランティア(自発的)な感想もあり、自分から何か始めるきっかけができたのではないのでしょうか。」

終了後、早速、当センターのボランティア登録をしていたいただいた方もおり、最初の一步を継続的に応援していきたいと思っています。

## サプリ村野学校

今年度は、コロナ禍で、なかなかスタートできなかったサプリ村野学校ですが、10月・11月に、5団体が8講座開催しました。

どの講座も、感染対策を十分にとりつつ、活動を待ちわびた参加者の熱気で盛り上がり、良かったです。

その後、再度の緊急事態宣言のため、12月・2月まで休止。3月からは再開しています。

次年度の開催については、ホームページや情報紙「ひらせんナビ」をご覧ください。実施団体の募集は、下記をご覧ください。詳細をお問合せください。



10/14・21・28(水)ゆったり健康美活ヨガ  
《枚方健康美活会》



10/18(日)超かんたん面白マジック  
《パフォーマンスサークル「街」》



10/23(金)・24(土)幸せのプリザートフラワー  
《フラワーサークル エレガンス》



10/17(土)糖尿病・血糖値改善カンタン体操  
《みつたま(三つ子の魂百までプロジェクト)》

## サプリ村野学校 実施団体 募集！！

サプリ村野を会場に、市民を対象とした体験講座・体験授業を実施する市民団体を募集します。受講者や会員・メンバーを増やす機会として、また活動のPRの場としてご活用ください。詳しくは下記まで。

問合せ

TEL : 072-805-3537 / FAX : 072-805-3531

Eメール : info@hirakatanpo-c.net

<http://hirakatanpo-c.net/manabis/sapurimuranogakkou>



11/14(土)ビーズ体験会  
《ハンドメイドアクセサリ教室リバリ工房》



# 2020年度 ひらかた防災学校

## 学んで守ろう わが身わがまち 7DAYS

2/6(土)~  
2/12(金)  
開催

二度目の緊急事態宣言が解除されるかどうかの瀬戸際の中、今回10回目を迎える「ひらかた防災学校」を、初のオンラインで開催しました。

今まで防災学校で行ってきたプログラム内容を動画配信するという企画で、14団体20動画を配信しました。特に最初の2月6日と7日の二日間では、ZoomとYouTubeのライブ配信の中で、事前に録画・編集した動画の配信も行い、二日間でのべ約70人の方に視聴いただきました。

また、防災クイズを12日まで配信し、一部を除きアーカイブ配信したYouTube動画の総再生回数は、2月末で約780回。短い期間でしたが、多くの方に関心を持っていただきました。防災クイズの解答用紙につけたアンケートを見ると、地域の防災関係者の方や、学生の方、または他府県の方など、多方面の方の反応を知ることができ、オンライン開催だからこそその収穫だと感じました。



今回のオンライン開催にあたっては、動画作成や動画配信に消極的な団体もおりましたが、企画委員のメンバーに励ましてもらいながら、写真をつなげたり、コロナ禍で集まらない人をZoomでつないだり、工夫を凝らして動画作成をすることができました。事前に動画を作成しなかった団体は、2月6日・7日に、ライブ配信で講座・ワークショップに挑戦。ライブ配信を実現するために支えていただいたスタッフや、エントリー団体の皆さんのおかげで、いろんな試みができた防災学校となりました。

コロナ禍での観光客減でも、がんばっている皆さんの一助になればと、いつも会場で販売していた東北や熊本の土産を防災クイズの景品としたり、当法人の会員の皆様に受注販売をしました。今後も継続したつながりをもっていきたいと思っています。

今回の防災学校の開催時期は未定ですが、年数回、セミナーなど開催しながら、皆さんと共に、「命を守る活動」「自分のまちを守る活動」を継続させていきたいと思っています。災害は「いつかくる」ではなく、「必ずくる」の備えをしていきましょう。





2/12  
(金)  
開催

# NPOと行政の意見交換会

12/4  
(金)  
開催



ひらかた防災学校の期間中に開催された「コロナ禍における枚方市の防災について」をテーマにした第2回意見交換会。メンバーは、枚方市危機管理室と市民活動課、ひらかた防災学校の防災企画委員を中心とした8団体、計17人。初の試みとして、Zoomによるオンラインで開催しました。

防災の意見交換会としては4回目となり、参加メンバーが聞きたかったことを危機管理室の臼井課長代理が丁寧に回答してくださり、大変実りの多い会となりました。今回の会をきっかけに、市の防災公園にあるマンホールトイレの見学をするようになったりと、やはり交流を続けてきた結果、NPOと行政の声がつながりやすくなっていると感じます。いざという時は、平常時のつながりがあるからこそ、力を発揮しますので、今後も継続して意見交換をしていきたいと思います。

今回、穂谷の里山が「にほんの里100選」に選出されていることなど、枚方の魅力が、あまり認知されていないことがわかり、いろんな発信方法について意見が出されました。また、発信だけでなく、自然や文化的資源の活かし方を考えるプラットフォーム的な場が日常にあればいいという意見もありました。NPOも行政も枚方の魅力を伝えていきたいという想いは同じです。今後も意見を重ねることで、この会発信の企画が実現できるように意見交換を続けていきたいと思います。

2020年度第1回目のNPOと行政との意見交換会は、「ひらかたの魅力発信について〜東部地域の里山・枚方の歴史〜」というテーマで開催しました。枚方市みち・みどり室、文化財課、市民活動課と、ひらかた市民活動支援センターに登録している10団体で、計22人が参加。



## 災害ボランティアセンター開設・運営訓練

11/6  
(金)  
開催



訓練会場では、ニーズ受付から始まり、災害ボランティアのコーディネート等のコミュニケーションを行った後、分科会も行いました。実際に動いてみることで課題が見つかり、もう少し効果的に動けるよう、必要な人材や団体を巻き込んでいくべきという意見もありました。

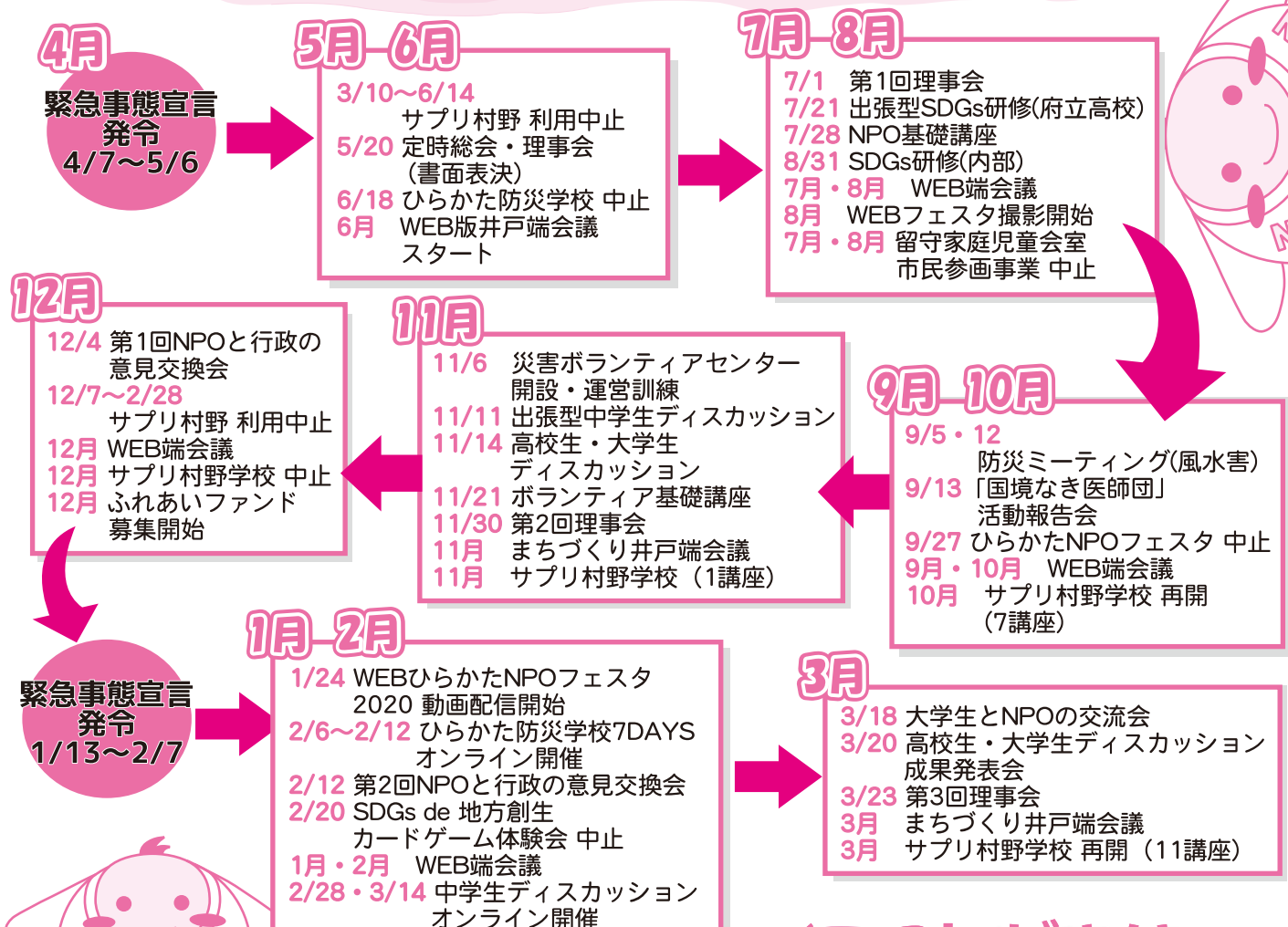
今回取り組んでみて、三者だけでなく、さまざまな専門性がある団体とのつながりをもつていく必要性を感じました。災害は待ってくれないので、今からでも少しずつ、つながりの輪を広げ、継続させていける仕組みを作っていければと思います。

重ねてきました。その一環として、11月6日に、令和2年度枚方市防災訓練として、災害ボランティアセンター開設・運営訓練を実施。当日は、コロナ禍のため、枚方市災害対策本部、災害ボランティアセンター、その他機関を、Zoomを使ってオンラインでつなぎ、eコミュニティ・プラットフォームの地図上の画面を使って訓練用の災害情報を共有しながら進めました。



# コロナ禍で駆け抜けた

## ひらかた市民活動支援センターの2020年度を振り返って



### 編集後記

2020年度は新型コロナウイルスが発生してから施設や屋外会場も使用できず、初めてオンラインに挑戦し、開催した行事が多かったです。まだまだ会員や登録団体の皆さん、ボランティアの皆さんともなかなか会えない日が続きますが、2021年度もピンチをチャンスととらえて、一緒にがんばっていきましょう。(編集者・S)



YouTubeチャンネルができました！  
こちらからご覧ください。



ひらかた市民活動支援センター公式インスタ  
@hiracen\_info



特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センター  
@hiracen



ひらせん(ひらかた市民活動支援センター)  
@hiracen\_info



### 【編集・発行】

特定非営利活動法人 ひらかた市民活動支援センター  
〒573-0042  
大阪府枚方市村野西町5-1サプリ村野内  
TEL: 072-805-3537 / FAX: 072-805-3532  
Eメール: info@hirakatanpo-c.net  
http://www.hirakatanpo-c.net/

### イラストだより



シャモニはモンブランの麓にあるオシャレな町です。ジュネーブから日帰りツアーで行きましたが、日頃の行いが悪いのかモンブランを見に行くロープウェイに乗ろうとした時に強風でストップ。  
仕方がないので、名物のチーズフォンデュを食べようと思いましたが、どのレストランも高そうなのでマックでガマン。先日、枚方市からもらったクーポン券を使って、家の近くのワインレストランでやっと念願のチーズフォンデュを満喫しました。(笑)  
(イラスト・文/向井 範雄)